

本校は、福山市の北部に位置し、1988年（昭和63年）に福山市立駅家中学校から分離独立し、現在の地に誕生しました。

福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てるために、駅家南中学校区として「育成すべき力（21世紀型“スキル&倫理観”）」を定め、小中9年間を見通した取組を行っているところです。



本校の学校教育目標は、「自立して社会に貢献できる生徒の育成」です。自立貢献ができる生徒とは、次の3つの力や心がけを身に付けた生徒と考えています。

1つ目は、「コミュニケーション能力」です。人は常に誰かと生きていく存在です。他者と良好な関係を築くことができるからこそが人生の幸せに繋がると考えています。自分の考えや意見をしっかりと持ち、相手のことを理解し、受け入れながら折り合いをつけていく力は、生きていくために大切なスキルです。

2つ目は、「協調性」です。生徒は皆、一人一人個性がありますが、その個性の違いを認め合いながら、誰とでも協力して頑張っていくことが大切です。本校では、教科の授業や学校行事、特別活動の活動において、生徒自ら課題解決に取り組み、みんなで達成の感動や喜びを共感することを目指しています。

3つ目は、「思いやり」です。学校生活のいろんな場面で見られるお互いの気配りや支え合いを当たり前のことと思わず、感謝し合うことが大切です。温かな人間関係は「頑張りの原動力」であり「基盤」です。本校では、様々な活動をとおして、生徒の思いやりの心を育てていきたいと考えています。

生徒全員が、学習や部活動、集団生活など、毎日を精一杯頑張り、仲間と共にこれらの力を育み、伸ばしてもらいたいと願っています。

保護者・地域の皆様には、引き続き本校教育活動へのご支援・ご協力をいただきますようお願いいたします。

福山市立駅家南中学校 校長 皿谷 修